

国別感染者数（WHOに届けたもの）

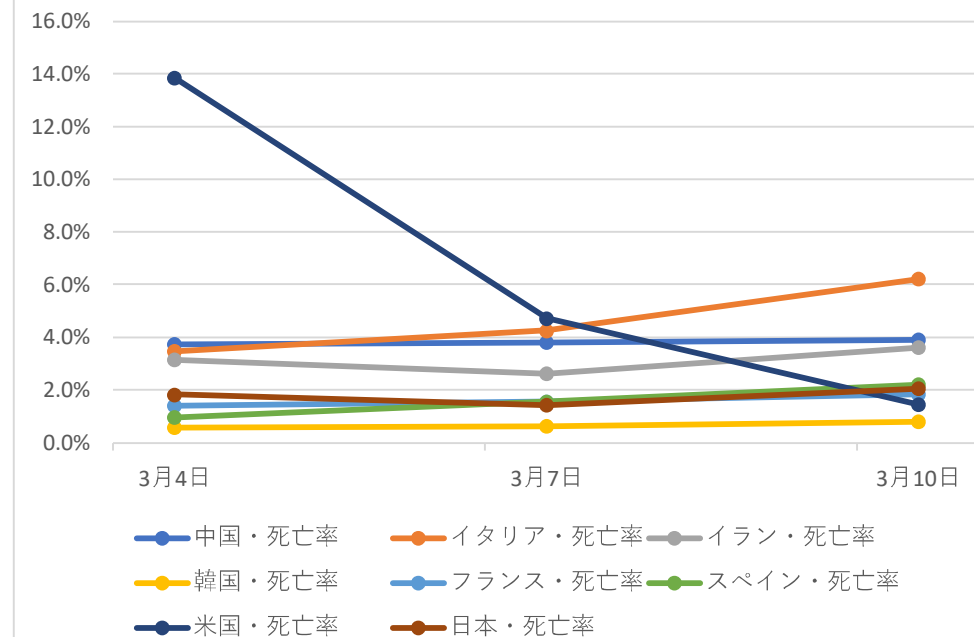
国・地域	3月4日	3月7日	3月10日
中国・感染者数	80409	80651	80778
イタリア・感染者数	3089	4636	10149
イラン・感染者数	2922	4747	8042
韓国・感染者数	5621	6767	7513
フランス・感染者数	285	577	1784
スペイン・感染者数	206	355	1639
米国・感染者数	65	233	754
日本・感染者数	330	418	583

国別死亡率

国・地域	3月4日	3月7日	3月10日
中国・死亡率	3.7%	3.8%	3.9%
イタリア・死亡率	3.5%	4.2%	6.2%
イラン・死亡率	3.1%	2.6%	3.6%
韓国・死亡率	0.6%	0.6%	0.8%
フランス・死亡率	1.4%	1.6%	1.8%
スペイン・死亡率	1.0%	1.6%	2.2%
米国・死亡率	13.8%	4.7%	1.5%
日本・死亡率	1.8%	1.4%	2.1%

イタリア、イランが韓国の感染者数を抜いている。韓国は第4位なので、多数の感染者がいるが、かなり良く抑制している。第5～7位に、フランス、スペイン、アメリカが入っている。日本は8位である。WHO事務総長は、中国以外で、イタリア、イラン、フランス、アメリカの増加に対する懸念をなぜかコメントしていない。桁違いに中国が多いことも強調していない。

国別死亡率

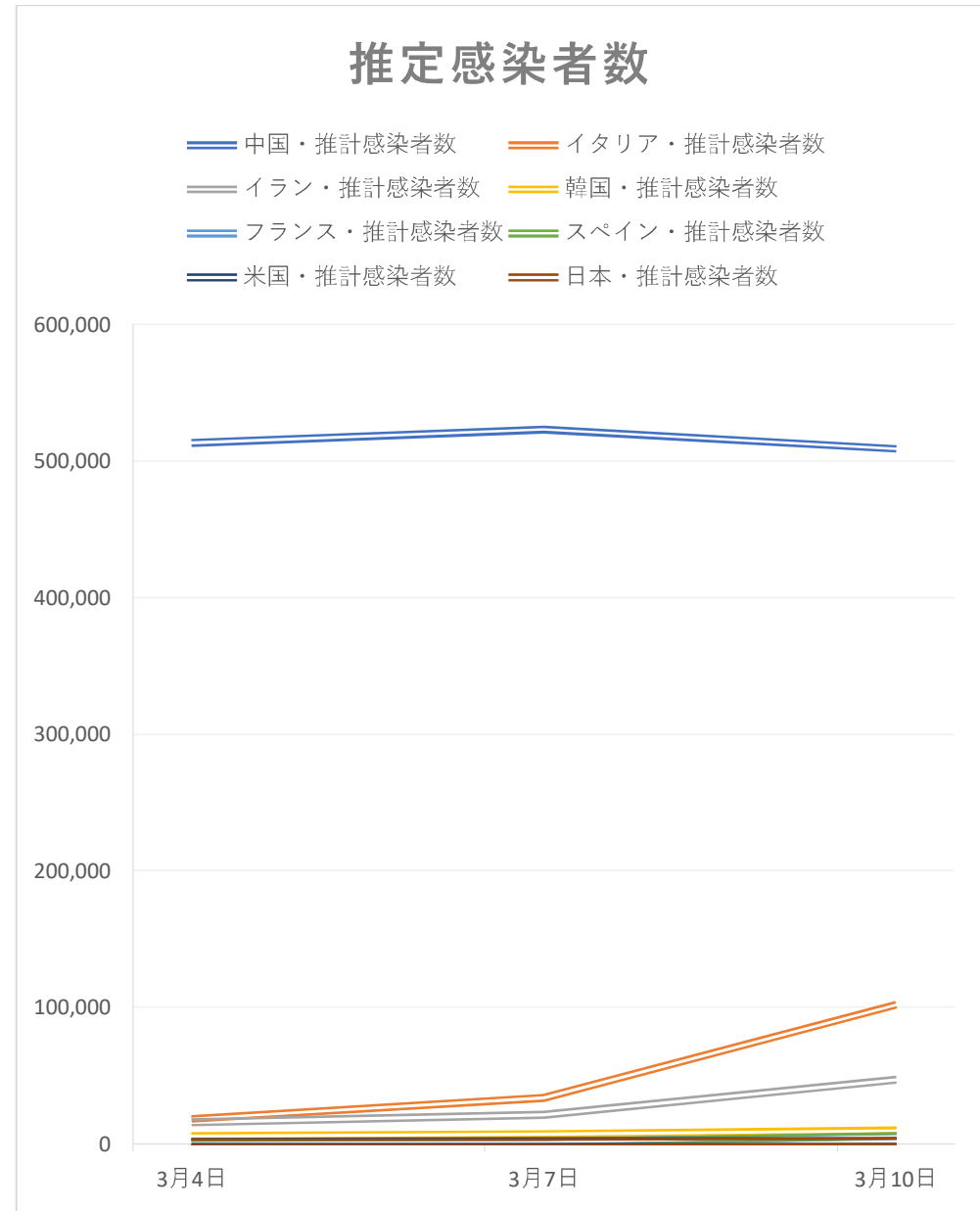


米国の死亡率が激減しているのが目立つが、3/4の時点では、感染者数65の内60名程度が武漢からとクルーズ船からの帰国者だったので、ハイリスクの感染者だったので特に高い死亡率になっていたものと推定される。3/7についてもその影響が続いていたものと推定される。

国・地域	3月4日	3月7日	3月10日
中国・推計感染者数	513,044	522,923	508,814
イタリア・推計感染者数	18,226	33,556	101,666
イラン・推計感染者数	15,671	21,121	46,886
韓国・推計感染者数	5,621	7,154	9,667
フランス・推計感染者数	681	1,533	5,317
スペイン・推計感染者数	341	852	5,800
米国・推計感染者数	1,533	1,874	1,772
日本・推計感染者数	1,022	1,022	1,933

感染者数の推定は、粗いものである。3/4時点での韓国の死亡率が（広く検査をして、死亡率が低いので）少しは潜在的な死亡率を反映している可能性が高いと推論し、各国の死亡者数を韓国の死亡率で除した。すなわち、潜在的には同じ死亡率と仮定し、各国の死者の背景に一定の感染者がいると推定しての値である。本来、医療水準等で死亡率は変化するので、粗い推定である。ただし、検査の運用が国ごとで異なるため、死亡数からの推定の方が、報告されている感染者数よりも実態に近いと考えた。

中国で、あくまで推定であるが50万人程度の感染者がいる可能性と、なぜか推定感染者数が減少しているという他の国とは明らかに異なる推移が推定される。



感染者数を指数化したら

国・地域	3月4日	3月7日	3月10日	概数何倍
中国・感染者数	100	100.30	100.46	1
イタリア・感染者数	100	150.08	328.55	3
イラン・感染者数	100	162.46	275.22	3
韓国・感染者数	100	120.39	133.66	1.3
フランス・感染者数	100	202.46	625.96	6
スペイン・感染者数	100	172.33	795.63	8
米国・感染者数	100	358.46	1160.00	11
日本・感染者数	100	126.67	176.67	1.7

3/10の感染者数は、イタリア、イランが韓国の感染者数を抜いている。韓国は第4位なので、多数の感染者がいるが、増加は1.3倍とかなり良く抑制している。第5~7位が問題で、フランス6.2倍、スペイン8倍、アメリカ11倍と激増している。日本は8位で、1.8倍なので、確かに増えているが、ある程度踏ん張っているという専門家会議のコメントは納得できる。

問題なのは、中国で、倍率で言うと1倍、これでは分からないので、3月4日を100とする指数にすると、一週間で、100.46となり、感染者が微増でしかない。それが正しいとしたら収束に向かっていることを示している。3/10で80778人とされているが恐らくもっと多く、国土も大きく、人口も多い国で、春節のときに武漢から各地に大量の人口が移動・拡散したにもかかわらず、WHOに届けている累積感染者数が増えていないのは、正直言って解せない。押さえ込みに成功していたとしても韓国の1.3倍になっていれば上等だと推察される。すでに、企業も仕事を再開しているらしく、濃厚接触の機会が増えるので、感染者は急増することも懸念される。中国では押さえ込みに成功したのは共産党独裁で上手くコントロールされたのだという論調があるそうだが、もし感染爆発したらどうなるのか心配である。

